



令和7年度 広島市公文書館収集写真展

フィルムの なかの日常

カメラと暮らした昭和の記憶

令和8年3月9日(月)
～7月10日(金)

開館時間

9:00-17:00 (土・日・祝日休館)

開催場所

広島市公文書館7階ロビー (入場無料)

広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル

TEL: 082-243-2583 FAX: 082-542-8831

フィルムの なかの日常

カメラと暮らした昭和の記憶

昭和30年代の日本は、戦後復興の歩みとともに街並みや暮らしが大きく変化した時代でした。三種の神器に代表されるような、さまざまな家電製品が登場し生活は少しずつ便利になる一方で、火鉢やタライを使うような昔ながらの暮らしも共存していました。

本展「フィルムのなかの日常～カメラと暮らした昭和の記憶～」では、平成26年度から令和6年度までに当館へ寄贈された写真資料の中から、昭和の広島に暮らした6人のカメラ愛好家たちによる写真58点をご紹介します。街角の風景、家族や友人との時間、地域行事の賑わいなど、写真には時代の空気と人々の営みが刻まれています。彼らが写した、どこか懐かしさを感じる昭和の記憶をたどっていただければ幸いです。



旧日本銀行広島支店前道路工事 袋町 昭和 31 (1956) 年 6 月



丸太遊び 大州 昭和 33 (1958) 年頃



ブラウン管テレビ 昭和 34 (1959) 年 5 月



年末大売り出し 福屋 昭和 29 (1954) 年 12 月

(表、上から) ① 障子紙 昭和 37 (1962) 年 10 月 ② 雪だるま作り 紙屋町 昭和 31 (1956) 年 2 月 ③ コマ回し 昭和 44 (1969) 年 1 月
④ はじめての散髪 昭和 33 (1958) 年冬 ⑤ ひな祭り 昭和 30～40 年代 ⑥ 運動会 川内小学校 昭和 31 (1956) 年 9 月

本展展示写真撮影者：飯田 邦夫 大下 隆雄 蒲池 玄三郎 中岡 雅昭 林 邑一 藤塚 實 (敬称略、五十音順)

会 期 令和 8 (2026) 年 3 月 9 日 (月) - 7 月 10 日 (金) 入場無料

開館時間 9:00-17:00 (土・日・祝日休館)

アクセス 広島駅から路面電車「紙屋町経由広島港」行き 市役所前下車
広電バス「観音マリーナ」、広島バス「広島港」行き 市役所前下車

広島市公文書館

広島市中区大手町四丁目 1 番 1 号 大手町平和ビル 7 階

TEL : 082-243-2583 FAX : 082-542-8831

WEB : <https://www.city.hiroshima.lg.jp/tourism-culture/history/1003068/index.html>



HIROSHIMA MUNICIPAL ARCHIVES